(六日夕刊)
磐城新聞
休刊 大祭日 第一第三日曜
定價 壹ヶ月 壹圓五十錢、郵税十錢
廣告料 二行五十錢 指定廿錢増
發行兼編輯印刷人 遊沼龍輔
發行所 磐城新聞社 福島縣平町田町拾六

濱三郡下小學校の百三校長會議
縣視學その他も臨席 廣汎な附議事項

石城、双葉、相馬郡下百三校よりなる小學校長會議は五、六の兩日に亘り平町第一小學校講堂に開催縣から風彩、菅野、齋藤の縣視學小林屬務官、影山補習教育主事、小野寺學務衛生技師等が來臨し次の各事項を協議した

△指示事項
一、國体觀念の涵養の件
一、所屬職員統督指導の件
一、教員の風紀振肅の件
一、郷土研究の件
一、体育法設備標準の件
一、運動競技の實施の件
一、特殊兒童の取扱の件
一、貧困兒童救濟の件
一、實業補習學校規定施行細則並に實業補習教育奬勵規定實施の件

△注意事項
一、教員の職務に關する件
一、諸表簿の整理活用に關する件
一、公文書の内容並報告期限に關する件
一、兒童生徒の進學及職業指導に關する件
一、兒童賞罰に關する件
一、兒童の修學旅行に關する件
一、兒童養護に關する件
一、疾病の豫防治療に關する件
一、實業補習學校則改正に關する件
一、實業補習學校教科書採定に關する件
一、農業實施の經營指導に關する件
一、學事統計に關する件
一、縣務要覽配付に關する件

△希望事項
一、教化事業の振興に關する件

△聽取事項
一、教育の地方化實際化に關する其の校施設の狀況如何
一、實業補習教育振興充實の狀況如何

△打合事項
一、教員進退に關する件
一、教員履歴書に關する件
一、入學試驗制度改正實施に關する件
一、市町村教育振興に關する件
一、實業補習教育に關する件
一、青年訓練所規定改正に關する件
一、海軍志願兵徴募に關する件
一、教育會に關する件
以上

平郵便局 去月の成績
何れも増加す

平郵便局に於ける一月中の事務取扱ひ主なるものは次の如くである

△郵便普通々常(引受)三十五萬一千三百七十二通(配達)六十四萬一千六百九十七通
△特殊通常(引受)四千百十五通(配達)四千九百五十八通
△普通小包(引受)一千二百二十三通(配達)三千六十二通
△特殊小包(引受)五百二十四通(配達)一千五百五十四通
△市内交換呼數四十五萬九千八百八十五件
△市外通話時數(發信)一萬一千六件(着信)一萬五千九十七件
△郵便爲替(振出金額)四萬三千五十圓六十五錢(拂渡金額)五萬九千五百六十五圓七十五錢
△郵便貯金(預入金額)三十三萬五千三百七十九圓七十三錢(拂戻金額)二十二萬四千九百八十七圓十錢
△振替貯金(拂込金額)七萬九千八百九十四圓六十九錢(拂出金額)六萬九千七百三十七圓二十錢

今年豫算を編んだ 郡農會總會
けふ元郡役所内に 新規事業も可決

石城郡農會總會は今六日午前十時から平町元郡役所内に開催したが明年度豫算は一萬三千百五十五圓で昨年度豫算より七十八圓の増加であるが此の内譯は事務費一千八百六十九圓、事業費九千三百九十九圓、會費諸公課一千十九圓其の他で、これが賦課法方は九千五百八十圓を一町村農會に九十四圓づゝ平均割當とし殘金の六千三百八十八圓を田畑地價百圓に付き十七錢三厘三毛を賦課する筈本年度事業は昨年と大差はないが採種圃設置の件は米、麥、大小豆の優良原種を縣農事試驗場より各町村に無償で交附する事、婦人農事講習會、農事相談所の充實を計る事等更らに新規事業としては縣よりの補助二百圓を以て石城郡果樹組合を設置することを可決した

磐中 野外演習
けふ鎌田山方面に

平町磐城中學校四年生徒二百五十名は今六日午前八時より高橋少佐、小松督務曹長引率のもとに鎌田方面に野外演習を試みたが非常な好成績に午後三時歸校した

鎌田遊廓の廢止反對運動 協議會

平町鎌田遊廓貸座敷業等は四日午御一時から總會を開き問題の公娼廢止對策を協議した同遊廓は從來單獨で廢止反對運動を續けて來たが勸誘もあるので福島縣聯合會に加盟して公娼廢止反對の猛運動をなすことになつた

俳句
歳暮雜吟

小川郷 松本松市
大晦日の市の燈風に明滅す
蒲を引く父の破顔や年忘
おでん屋に落合ふ顔や年の市
同
支那蕎麥を出て掛乞の小走りし　若松超堂
砂塵捲く師走の町や旗翩翻
同
尺八に師走の巷人垣す　吉岡獨歩
慈善鍋に師走の小錢疎らなり
同
樵る夫に馬牽く妻に積む年木
搬水車に師走の人波動搖す
物乞の師走を餘所に綏式か那

明日の吉凶
舊暦十二月二十七日
新暦二月六日

▲一白 吉凶交々至り捕捉しがたき運氣自重が第一▲二黑 人のもつれ事には成るべく口を入ぬ樣すべし▲三碧 一時不安の氣に襲はるゝとも敗けには至らず▲四綠 外に出ては口を愼み世話事は目上に讓るべし▲五黃 外に飛び廻らずとも内にありて十分發展す▲六白 一家同体となりて働けば邪魔物皆去るべし▲輕卒の行ひを愼み手堅く進めば大發展す▲八白 不況は世間並と思ひて忠實に働くべき▲九紫 和合を失はぬやう共に進めば大に吉し

民謠漫談 (八)
抱夢生

女學校で盛にやつた合唱よりも或は所々で聽いた管絃樂よりもた正月の退屈まぎれに懸けた蓄音機の二十枚を新内に此の上なく耳を傾けたり一片の端唄に憧憬の胸を躍かしたりはしまいか或は門前を流し行く朗々たる梵論僧の尺八重慕によく愛憐の涙を催しはしまいか、音樂會の慰勞會にどづかと車座になつて酒を酌み交はした時徴蒸陶然として口を動いて出るものは俗謠ではないか、端唄ではないか、民謠ではないか、堂々ステイジにベートーベン彈いた人も四疊半の爪彈きに隨喜の涙を流す何人と矛盾した話ではないか、而かも端唄や新内は卑しいものとして娘は學ぶことを拒まれて居る又追分や都々逸は賤しいものとして學ばしむる家庭は更に無い、噫世の中は斯うも乙に窮屈なものであらうか、

私は唄を聽く事を好む、唄は難しく區別すれば俚謠民謠俗謠音曲等であるが左樣な事は何うでもよい、殊に舞踊的リズムを有するもの即ち上州の八木節、秋田のジョンカラ節乃至磯節の音頭越後佐渡のオケサ津輕如きものより悠々たる朗吟的のものが好きである、近頃はラヂオで各地の民謠を聽かれるが私の話すのは勿論寡聞ではあるが幾回となく體驗した肉聲をいふの一ある木曾節追分節博多節伊豫節馬方節鎌倉節投げ節上り新内越後の天神囃し福島縣の相馬流れ山節石城地方の目出度、宮城縣のさんさ時雨盛岡地方の山車音頭青森弘前近在の山唄等が最も印象深いものである。地方によつてはまだ可いものか澤山あるだらうが眞に深刻味のある唄は東北地方でも北に及ぶ程あると思ふ、以上の唄は伴奏役の三味線はほんの調子を取る爲めに必要で主となるものは美しき音聲其の物である、中には全然鳴り物の不必要なもものもあるのは云ふ迄もない端唄にしても義太夫にしても美しい音聲が必要である民ようの生命は肉聲の美に鳴り物ではない、平生花柳の巷に出入し自ら以て粋人となす者は下手ながらも大概の音曲は眞似の出來ぬ事がない、三勝半七酒屋の段や壺坂や野崎の連れ彈き三十三間堂の木遣り歌や太閤記十段目や阿波の鳴戸の一節位は大抵眞似する又都々逸は無論の事端歌にしても活惚や深川や奴さん、春雨、紀伊の國、夕暮大津繪や米山甚句、越後獅子位は朝飯前の事であるが然し是等の粋人に一曲の追分或は一曲の投げ節を所望して見給へ、能く歌ひこなせる者は稀ではあるまいか私は稀であると斷言する。

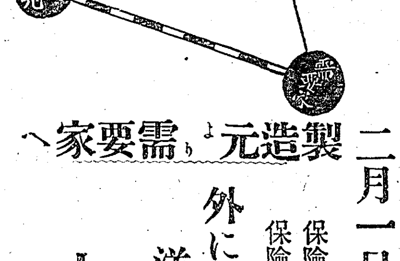
講談
幕末維新 新撰組
(153) 渡邊默禪作 宮野歌春畫

梅は默つて背後に隱して持つてゐた業物をずつと二人の眼前に突出した紛れもない京土産、鴻の池から讓られた備前三郎國定の銘刀その切尖から鍔元にかけてどろりとべにを流したやうな鮮血、腥さい肉の香が颯と立つ。
「やーー」二人は眼を見合せた。
「フン」と梅は鼻の尖に乾笑つて
「是でも先刻から十三人斬つたばかり叩ッ斬つたぞ」
「ねッ、十三人?何の間に……」驚いた男だ、其の半とは何ぢや」
「半殺し、斬そこなひ」
梅は澄ましたものだ
「いや、惡かつた、俺が惡い」
と勇は横髮を玉いて
「梶原、斬込むぢやッ、一戰死の覺悟ぢや、よいか」きつとなる。
「諸來たッ!」
聲に應じて梅は叫んだ
「總隊、蒐れッ!」
勇は軍刀を振上げて鐘の如き號令を懸けた。
「わアッ!」天地も破るゝ五十餘人、勇を中央に圓陣を描いて簇がる因州勢の中へ吶とばかりに突貫した。さながら才壁の沙漠を横行する野馬の一群に虎の牙を與へ、駝鳥の翼を添へて、天魔の鞭に熱砂を驅けさせるかのやう。
眞先にきらめく稻妻は、鬼梶原の打振る大刀!拔刀隊はいづれもよりすぐつた精鋭の兵である。勇の御小姓と稱へた川崎順道外十二人を始め土方才三や鬼梶原、長倉新八、原田左之助、島田魁などいふ生粹の新選組、鳥羽伏見の戰以來血の雨に打たれて鍛へて來た腕である。それが決死の勢ひを以て無二無三に斬り捲るのである。切尖の冴ゐることは云ふまでもないたるの本色を遺憾なく發揮した阿修羅の如く暴れ廻る太刀風に好敵ござんなれと押取卷いた因州の劍客横山大九郎、逸見信威外二三人梶原を包圍して生きながらなますにしようとしたのを縱横無盡に渡り合つて先づ横山を肩からけさに斬つて發し、逸見の胸を突き他の二人に重傷を負はせて碎く中にその圍を破つた働きはもの凄じく敵の眼に映つた。
我劣らじと踏入り巴の如くに驅廻つて此處を先途と奮戰する拔刀隊に惱まされ勝誇つた敵は忽ちに色めいて、後へ後へと頽れ立つ恁くと見た勇は聲を嗄らして烈しい號令進め!進め!としつたする此の號令は十門の加農砲よりも力のある叫聲である。味方の勇氣はいやが上に加はつて、息もつかず追撃する。あはや官軍は總敗北占領した陣地を棄てゝ退却するのも最う一刹那且後の勝敗は五分間に在りナポレオンの言は何處の戰爭にも實驗される。五分間只の五分間その五分間さへ現狀を維持されたならば確かに幕軍の勝利となつたのである。悲しいかな一分一秒、わづかにそれだけの差を剩して、大勢が急轉直下した。意外の天魔が邪魔をしてその手から勝利の冠を奪ひ取つた。

スター好 ナフトール 着尺
新柄 モス着尺
新柄 ホグシ銘仙
其の外 色々取揃申候
平 龜田屋 電話五七

聯合福引大賣出し
景品山の如し
二丁目
舊十二月廿五日より廿九日まで
新二月四日より八日まで
五日間

變つた賣り出し
景品なしの原價提供
二月一日より十日まで
保險付 掛時計 三圓五〇錢
保險付 目覺時計 一圓九〇錢
外に腕時計と洋品各種大投賣
製造元より需要家へ



大谷時計病院
平三丁 電一一九番

二月六日ヨリ九日マデ
舊歳末福引大賣出し
先期間中非常ナル御引立ニ預リマシタ御禮トシテ三日間延期致シマス尚一層ノ御愛顧ヲ
三井呉服店

◎躍進!
新發賣の品質優秀なる
イワキ石鹸
半打入 五拾錢
一月三十一日より向ふ一週間は聯合賣出し中に付二箱に對し福引券を差上げます
四丁目 ツルヤ商店
電話百四十番

内科小兒科其他一般(入院隨時)
前田醫院
植田町本町(電話一二四番)
前田清美
(看護婦見習優遇募集)

日掛金を融通致します
但シ確實ナル連帶者ヲ要ス
平町三丁目三十八番地
合資會社 常磐興信所

自慢の御菓子
經濟と實用を兼ねた一等品としての自信を誇る弊社製のお菓子は
御家庭用に!
御進物用に!
特製品
▽尼子殿中 ▽時雨の松
▽龍燈あられ ▽平の櫻
▽名物尼子豆 ▽菊の友
▽磯の花 ▽コマロンケーキ
▽塩せんべい ▽パン粉各種
市内各菓子店で發賣
是非御愛用を願上ます
平製菓株式會社
電話三六〇番

白晝さい安心しては路も通れぬ平地方

自動車の交通事故防止に ─猪狩署長捨身の大努力

平警察署管內に於ける交通機關の著しい激增に連れ遂に昨今に至つては連日數件宛の事故發生を見殊に乘合自動車の運轉手が競爭意識から讓成する交通事故の頻發は一般通行人を極度の不安に陷てゐるが此の激增する交通事故を徹底的に根絶せしむべく平署では屡々交通の

特別執行を施行し亦らに最後の手段として最も不良と目される運轉手數名を就業停止處分に附する等殆んど全力を擧げて交通事故の撲滅掃蕩に努めてゐるが平署の此の努力に反比例し營業事故の激增は逐日驚異的加速度を示してゐるので猪狩署長は遂に自動車營業者中當局の嚴重な警告に違反し事故を激增しつゝあるものに對して營業停止の一大鐵槌を下すべく決意すると全り此の程管內全部の

營業者に嚴重な警告を發したが猪狩署長は競爭最も熾烈な中、湯本間の乘合自動車營業者たる湯本町鈴木自動車部及平町尼子自動車部の兩營業者を今六日平署に召致し事故防止の爲め兩者が互に讓的營業方針に依つて從來の競爭意識から生れた事故の根絶と營業協議に警告的斡旋を爲す處あり兩者共

當局の意を諒とし協調營業に努めるべく明七日まで兩者間に營業時間の脇守乘合客爭奪の惡弊一掃其他定期運轉時刻等の案を作成し七日午後一時から平署樓上に再會して協調案を提示する事となつたが平署では引續いで平四倉其の他全營業者に路線協調の斡旋をする事となつた

平町の舊歳末賣出し 今が絶頂の活況

平署の特別執行で 即決の科料一束

平町商街は書入の歳末聯合日、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、田町等の聯合大賣り出しも昨日今日全く絶頂の景氣振りを見せ一丁福引の事務所の前は黑山の人垣を造つて久しく沈滯し切つてゐた商街も舊歳末でなくては見られない活况を見せてゐるが此の歳末景氣につれて萬引其の他の季節的犯罪が續出するので平署では過般來から特別執行中であるが本日まで此の網にかゝつたものは大体次の如くで不思議な事に刑事犯罪は僅に花合の二件のみである

△平町田町牛馬商大塚久次郎(三三)は自轉車リヤカに四十三貫匁の豚肉を積載した上自分も此れに乘り雇人に曳せたので科料三圓△双葉郡久之濱町荷馬車挽業坂本茂吉(二八)は取締臺なき荷馬車に口取りなく塘乘して科料二圓△江名町字中之作荷馬車挽吉田清治(三六)は同科料二圓△大浦村大字狐塚運送業岡田佐久(二九)夜間燈火を用ひず自轉車に塔乘して金二圓△平町南町飲食店第二新橋の酌婦大石ハル(一七)は客を誘引して金五圓のお灸△平町字鎌田町賈藥業上杉助松(四九)は鐵道線路內を通行して金二圓の科料

七年一度の祭事 釜戸の奴行列

來る五月十六日に 豫想される賑かさ

石城郡渡邊村大字中釜戸鎭座の諏訪神社は村社であるがその大祭は七年に一回四月八日を以て行はれその供奉の行道頗る古雅にして給に見る大名行列の如く釜戸の奴としてその名を知られ遠近より集まる參觀人で夥しい雜沓を見せるが例となつてゐるが今年は恰もその七年目に相當し來る五月十六日の舊四月八日を以て行はれる筈で今から當日の盛况が想像されてゐる

古老に就いて同社の由來を聞くに時は聖武天皇の天平十二年(今より千二百年前)下川村の漁師古口某といふもの漁網に一種異樣な神靈が現れたので恭しく船に移し奉た處この土地の上方に和武臺といふ處があるからそこに安置されたいとの神託があつたので所々探査して現在の土地を見つけて鎭座し上今日に及んだといふ、古口の家は今に連綿たる系統を續けて繁榮してゐるので每回の祭禮には必ず一行の休憩所になつてゐるが慣例となつてゐる

寒さは未だく續くものと觀測

今の暖氣は一時の變調 小名濱測候所談

石城郡地方は寒い〳〵と寒三十日を送り三日節分に明けたが寒入から三十日間ノ氣溫を小名濱測候所に聞けば寒に入つてからの氣壓は南低北高のため太平洋上は一帶に稀薄な氣流となり太平洋沿岸はこれがため每日好晴であつた由であるが寒中の最高溫度は平均六度九分で昨年は平均八度二分であるから平年の七度九分に比べても今年は寒かつた譯である最低は平均一度七分で昨年は二度九分平年は二度六分であるが一月十日暴風の最底溫度は攝氏零點下九度まで降下したが寒は明けても當分寒さが續くであらうと

借り逃げ男

平署に取押願ひ

平町田町居住人力車挽子佐竹仙次(三六)は同僚から衣類並に時計などを手當り次第に借受け入質して遊興費消し町內知人からも同樣手段で物品を借受け費消しその支拂ひに窮したのでいづれかに逃走行衛を晦ましたので債權者達は平署に出頭佐竹の取押へ方を願出た

國有林拂下內定

米に不作の山間村落 救濟の方策樹つ

石城山間部各農村は昨年天候不順に祟られ稻作ノ大減收に遭ひ何づれも大恐慌を來たして居るたゞ縣當局でも捨置かれず過般から救濟方法を指示して對策を講じつゝあつたが一方災害各村から救濟の良策に就て希望を徵した結果山間部農村は何づれも製炭材料として國有林立木拂下げが刻下の急務であるから右立木の拂下げ希望を平營林署を經て縣に出願して來ので縣山林課では平營林署と協力して農林省に對し極力立木拂下げ運動をした結果愈々近く許可になる事になつた營林署では目下それ〴〵山林調査中であるが之れが許可となれば山間部農村も何とか現在の窮境を切り拔け得られるものと見られて居る

養蠶同業の 役員選擧

きのう決定

石城養蠶同業組合總會は昨五日平町元郡役所內に於て開會したことは既報の如くであるが役員改選の結果次の諸氏選任された

(組合長)和田甚內(副組合長)高萩正一、樋口幸右エ門(評議員)鈴木喜三郎、鈴木道治、椽川義貞鶯三郎、芳賀義美、志賀直哉、佐藤倉治(以上)

公賣公告

福島縣石城郡大字泉字廣畑二二三番地
滯納者 矢鄕 倉藏
福島縣內鄕村地內
石炭鑛區 九萬貳千四百四拾七坪採掘鑛業權
右國稅滯納ニ付前記財産昭和四年二月十七日午前十一時ニ平稅務署ニ於テ入札ヲ以テ公賣ニ付ス買受望人ハ當署ニ就テ詳細承合ノ上入札ヲ爲スベシ
昭和四年二月六日
平稅務署長

植田驛業績

收入は增加す

植田驛一月中の成績は左記の如く乘降客の減は財界不況によるものにて收入の增加は團体及京都方面の遠距離旅客の多かつた結果で尙貨物の發送噸數が減じて收入の增加した原因は遠距離輸送の多かつたゝめである

乘車人員一萬三千五百七十一人前年度より千七百三十四人減、降車人員一萬三千百六十五人前年より千八百六十二人減、收入五千百七十圓二十六錢前年度より八十二圓四十七錢增加

發送貨物五千百二十三噸前年より二百四十二噸減到着三百九十九噸前年度より四十五噸減、收入一萬七百八十二圓七十七錢前年度より千二百六十二圓八十九錢增加

圖太い女給を檢擧

主人の金を盜んで逃走 餘罪もある見込

平町四丁目カフエーボタンの女給小名濱町生れ高橋タカ(二〇)は去る一月廿九日まで湯本町驛前カフエー旭出方に女給として稼いでゐたが集金した洋食代金二十一圓餘と主人ノクローム腕時計一個を橫領して逃走前記カフエーボタンに何喰ぬ顏で女給として住込んでゐた事の發覺し今六日平署の猪狩刑事の爲めに寢込みを踏込れて逮捕され目下取調中であるが此の他にも餘罪ある見込である

主人の金を 盜んで逃走

平署へ捜查願

平町字才槌小路藥屋島辰次郎方賈藥行商澤繁吉(假名三〇)山中良三(假名三〇)の兩名は昨五日午後十時頃主家の賣上金三十九圓を窃取して逃走行方を晦ましたので平署で目下兩名の行方を嚴探中である

自轉車と 自動車衝突

幸ひに助かる

平町二丁目尼子自動車部運轉助手飯野村字上高久生れ林寶(二二)は昨五日午後二時頃無免許で四倉から平町に向け乘合第百五十三號自動車を運轉し平町字四丁目街路に差掛つた際前方から荷馬車と竝行し疾走して來た平町字鎌田草野染工場徒弟渡邊喜一(二三)が塔乘して來た自轉車が突然荷馬車を追越さんとした爲め前記自動車の正面に衝突喜一は地上に投げ出されたが幸に生命は別狀なかつたが自轉車は

青年理髮

平町に出來た 受驗準備講習

平警察署管內理髮業組合では每月十七日ノ休日を利用して受驗準備として衛生理解剖細菌學等について敎育を施すことになり去月から始したが理髮業者各徒弟は每月二回 準備敎育を受けた處で到底充分な知識を得ることが出來ぬと言ふ理由で十六歲以上二十五歲以下の若手組は現在の理髮業組合と、趣旨の異つた平理髮青年研究會なるものを組織して今回大森醫學士その他を招いて每月曜日同町南町の看護婦學校に於て衛生學解剖學細菌學等の一般敎育を受けることとなり目下趣意書を各方面に配布し希望者を勸誘中である最近一般徒弟が學理的研究に傾いて來は頗る注目される處である

流感猛襲

平地方に 充分注意せよ

石城郡地方では最近旺んに惡性の感冒が流行し或は一家全部が感冒に罹り呻吟してゐるものもありこれは近來の天氣續きで空氣が極度に乾燥した結果であるが然しこの感冒は高熱が幾日も續くが死亡率が割合に尠なく子供が感冒に罹ると肺炎或は高熱のため腦病が併發して死亡する場合があるから患者のある家庭では充分傳染せぬやう注意せねばならない

紅燈街

新田町藝妓 平湖月鈴木千代吉方藝妓文助事館かね(三五)は昨年十一月二日情夫なる平町二丁目淺川金太郎と手に手を取つて馳落したが其の後廣島縣鹿兒島縣等の溫泉を浮れ廻り此の程行在を突止められて主家に連れもどられたが警察の許可なく外泊してゐた件に依り科料金十圓のお灸を据えられた

貴院選擧の 運動猛烈

多額議員補欠選擧は愈々切迫し石城方面は各派共目下最高潮る猛運動を續けてゐるが今六日から兩候補者夫郡自派運動員と共に戸別訪問を開始し全力を注いで必勝を期してゐる

和歌に就いて

材木町 虛庵

和歌は題を離れて詠むべしと古人も云つて居る。是れは如何にも名言だと思はれる。題に拘束されて居ては思索の自由は無くなる。強て題に迎合せんとすれば必ず句に無理が出來るものだ。然るに近頃の選者の內には「この題は惡くもないが題に添はないから落第だ」杯と云ふ者がある。之では選者自身が先づ題に囚はれて居る。斯かる偏見、選者の門には碌な歌人が出來る見込はない。

和歌に文字の穿鑿は畢竟末梢的技術に過ぎない。是れ亦古人の名說である。テニオハは成るべく間違はぬ可しとする。言葉も陳腐よりは新奇の方が良い。之は云ふ迄もないことだ。然し夫よりも問題は歌の內容精神ではあるまい乎。アー云へば古い、コー云へば新しい杯と徒らに難解の古語や野卑なる俗語を挿入して殊更に技巧を衒はんとするが如きは寧ろ歌道の精神を賊するものである。

無暗に實生活を云々して歌の構想を平凡化することも惡くはなからうが是れ亦聊か考へ物だ。實生活を主體とする凡歌ならば寧ろ雜俳や都々逸の方が遙に上手である。少くとも和歌は眞善美の表現を以て生命とせねばならぬ。假令實生活と雖も之を眞化し善化し美化て其の精神的信念が加へられねばならぬ、夫でなければ歌道の神樣が泣かれるであらうと我輩は私に心配する。

和歌は決して玄人の獨占すべきものでない。花に囀る鳥水に啼く蛙杯は別問題として、苟くも人間である以上は、誰でも勝手に詠み得る權利がある筈だ。然るに歌詠みの玄人連中が色々の型を作り獨りよがりの規則を設けてアーでもないコーでもないと頻りに文句を並べ立てる。其處で素人は恐縮して歌は非常に難づかしいものだと尻込みせざるを得なくなる、近頃一寸そんな弊がありはせぬ乎。

然らば貴公の所謂和歌とは何ぞやと聞かれるかも知れない。宜しい一例を擧げて見る日露戰爭當時即ち明治三十八年勅題「新年山」岐阜縣人某女と記憶する「つはものに召し出されし我せこはいつこの山に年迎ふらむ」御詠披講の光榮を得たる選歌である。

この歌の何處に技巧があるか何の奇警があるか、只是れ平々凡々の調、然も其の內に一種の涙ぐましき感激を喚び起すものあるは何ぞや。他なし烈々たる報國の赤心と切々たる貞婦の志とが凝結して此の千載不巧の名歌と成つたのだ。

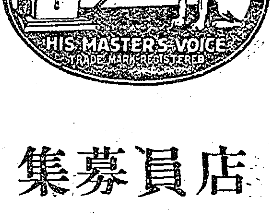
勿論こんな名歌がソー無暗矢鱈に出來るものではないが、然しその精神即敷島の道即惟神の大道であらうから和歌を詠まん者は須らく先づこの心掛を以て精進すべきではあるまい乎。

一日一人

千葉彥治氏

一將功成りて萬骨枯る。日本海の大海戰は東郷大將の名によつて行はれたが、この背後に幾百幾千の小東鄕ありし事を忘れてはいけない。西南の役は、西鄕南洲の名に依つて著聞するが、この背後にどれだけの犧牲者あるかを知らなければならない、故に表面の結果のみによつて直ちに其の人の功罪を論ずる事は出來ないと思ふ、故に吾輩は何事に對しても其の原因經過、結果の最大事象に對して冷靜なる考察と批判を忘れたくないと信じてゐる

レコードハ此のマーク!を



店員募集

肉聲のビクターレコード
販賣店 會田時計店
平町四丁目(電話三六三番)

三益玉炭のお奬め

三井物産會社ガ多年ノ研究ノ結果專賣持許ヲ得タ最モ文化的ノ木炭代用ノ高級燃料デス

□無煙無臭デ、火付ガ早ク火持チ良ク、火力ガ強ク日常ノにやきニハコンナ便利ナ品ハアリマセン
□ソレデ値段ハ大變お安ク木炭ノ三分ノ一デ充分間ニ合ヒマス
□ドンナニ喰はずきらいノ人でも一度使ヘバ必ズ御氣ニ召スノガ此ノ玉炭ノ特長デス

値段ハ壹箱金貳圓
個數ハ約八百個內外

御申越次第見本ヲ持參シテ御覽ニ供シマスカラ御申越下サイ

平驛前 阿部石炭商店 電話二三七番

貸地廣告

古鍛冶拾番地(縣社天理教會東材木店跡)
病院商店工場並ニ高級住宅地トシテ最適地 貳百五拾坪
右極安値永久ニ御貸致マス(分割モ可)
御希望ノ方ハ電話四四又御來談下サイ借地人本位ニ御相談シマス
平町古鍛冶拾番地
阿康藥店……電話四四番
櫻山

御正月の御視に

可愛お孃樣のすきなキネマ女優や昭和童謠へ々の優美 羽子板
坊樣らの御好み武者人形
破魔弓 羽子板
種々陳列いたしました是非御用命を
御買上高一圓毎に福引券を呈上
平町四丁目(電話七一二番)
スガノヤ提灯店

內科 小兒科 皮膚科 花柳科
平町舊城跡(城山)
青沼醫院
醫學士 青沼淡夫
電話四〇三番

吉田眼科醫院